



2019年2月25日

SOMPOホールディングス株式会社

SOMPO Digital Lab, Inc.

## 自然災害分野におけるグローバル産学連携プログラムへ参画 ～ビッグデータを活用した実効性のあるサービス開発に着手～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、お客さまの「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービス提供を通じ社会に貢献するというグループ経営理念の実現に向け、保険事業を中核に事業領域を拡大するとともに、デジタル技術の活用を加速させています。

このたび、SOMPOホールディングスグループのデジタル戦略拠点である米国シリコンバレー法人 SOMPO Digital Lab, Inc.（Chairman：大原 克之）が、スタンフォード大学の自然災害関連の産学連携研究プログラムに同組織の第一号企業会員として2019年1月から参画しました。

### 1. 背景・目的


昨今、気候変動により大規模な自然災害が世界的に頻発化し、大きなリスクであると世界規模で認識されるなか、最新のデジタル技術やデータを活用した災害予測や災害発生後の減災システムなどの研究が世界各地で進んでいます。

このたび、SOMPO Digital Lab, Inc. は、スタンフォード大学都市環境工学部に属する Stanford Urban Resilience Initiative（以下「SURI」）の産学連携研究プログラムに第一号企業会員として参画し、自然災害分野の研究および実効性のあるサービスの開発につなげていきます。

### 2. 提携先の概要

SURI は、スタンフォード大学都市環境工学部に属する、自然災害発生後の都市強靱性を研究する組織です。地震や洪水などの自然災害に備えた回復力のある都市やコミュニティを形成するための最新技術やツールを研究・開発することを目的に、2015年に設立されました。

SURI では、同大学の産学連携研究プログラムで博士号取得を目指す学生や研究者と、同プログラムの活動に賛同する行政機関、企業、NPOなどが協業して研究開発を行います。また、2018年12月に企業会員制度を新設し、参画企業が有するデータ等を活用することで、より実効性・実用性のある研究開発を加速させる狙いです。

名称	Stanford Urban Resilience Initiative
設立年	2015 年
代表者	Chittayong (Jao) Sueakibanharn, Executive Director Jack Baker, Direstor
ウェブサイト	<a href="http://urbanresilience.stanford.edu/">http://urbanresilience.stanford.edu/</a>
ロゴ	

### 3. 今後について

SOMPO Digital Lab, Inc. は、これらの産学連携研究プログラムの取組みを通じて、SOMPOホールディングスグループが有する自然災害の状況や経済的損失に関する膨大なビッグデータを含むグループ・データプラットフォームおよび自然災害リスク推定の知見と、SURI の持つ最新技術や人材を最大限に活用することにより、自然災害リスクというグローバルテーマに対して、安心・安全に資する新サービスの開発を目指します。

以上